

平成23年度 決算説明書／事務事業評価シート

前年度課室名	健康推進課
課名	社会福祉課

予算	款	項	目	決算書
	4	1	1	124 頁

目名
保健衛生総務費

事務事業名称
子ども医療費助成事業

1. 概要

目的	子どもの保健向上及び保護者の子育て支援を図る	対象	市内の乳幼児及び小中学生
事業概要	○子ども医療費助成事業・・・医療費の助成〔対象:乳幼児及び小中学生〕		
	・乳幼児:入院、通院、調剤、歯科のいずれも現物給付 但し、入院時食事療養費標準負担額は償還払い 入院、通院、調剤、歯科については、県補助対象 入院時食事療養費標準負担額は県補助対象外		
	・小中学生:入院のみ現物給付。通院、調剤、歯科は償還払い 入院時食事療養費標準負担額は償還払い 入院については、県補助対象 通院、調剤、歯科、入院時食事療養費標準負担額は県補助対象外		
※ 平成22年10月から制度改正により乳幼児医療費助成事業と児童医療費助成事業とを合わせ「子ども医療費助成事業」として実施			

臨/経	事業名	事業内容(主な経費等)		予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	その他	一般	
経常	子ども医療費助成事業	助成件数:74,913人	委託料	103,374	101,004	24,728	0	38,078	38,198	3
計				103,374	101,004	24,728	0	38,078	38,198	

2. 指標設定

成果指標	指標名	医療費の助成		目標年度	H27	指標の設定理由		
	数値	—				総合計画／後期基本計画において、基本施策(1-2-1)の重点施策としているため		
活動指標	指標	a	助成件数		b	c		d
	数値	目標	—		目標	目標		目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H21	H22	H23
医療費の助成		—	—	—

活動指標名	単位	H21	H22	H23
a 助成件数	件	41,186 件	53,742 件	74,913 件
b		—	—	—
c				
d				

4. 課題と対応

課題
就学児を対象とした助成については、財源が基金(3億円)によるため、概ね平成27年度以降の財源確保が課題となる
対応（改善点等）
対策について検討要する

5. 事業費・・・H21～H23（決算額）、H24（予算現額）

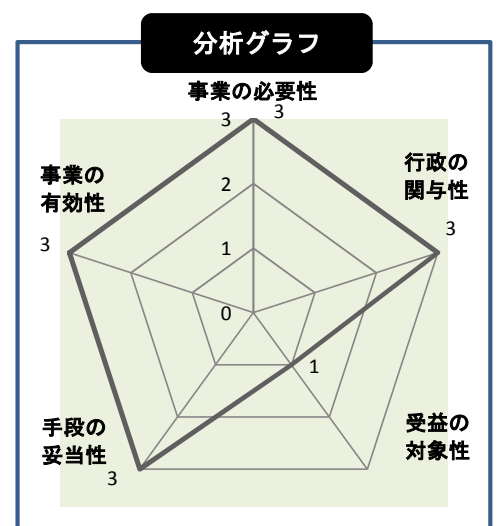
決算額（千円）		H21	H22	H23	H24
		374,897	100,801	101,004	117,255
うち経常経費		60,958	63,028	49,932	59,009
財源内訳	国費				
	県費	22,097	23,401	24,728	29,129
	市債				
	その他	13,929	34,420	38,078	46,324
	一般財源	338,871	42,980	38,198	41,802
うち経常		38,861	39,627	24,945	23,756
事業費に係る人件費		12,458	12,263	13,760	14,771

6. H25年度予算の方向性

方向性
増額
理由
本事業は、県の補助事業であり、現行制度で推移するが、助成件数が伸びているため

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 疾病の早期治療と保健の向上、保護者負担軽減のため必要である
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 民間による実施ができない
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 中学生以下を対象としているため
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 乳幼児について現物給付方式としているため、適当であると判断する
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 保護者負担の軽減が図られており、有効性は高いと判断する



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	適切及び効果的な事業実施に努めること